

3人4脚



R3. 4/9(金) 第1号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

「こころをみがく」の達成を目指して

～学校・家庭・地域の「3人4脚」で頑張りましょう～

暖かな春の日差しに包まれ、今週の6日(火)に始業式と入学式を行い、令和3年度がスタートしました。あらためまして、お子様のご進級・ご入学おめでとうございます。私は、校長の和田智司(さとし)と申します。平成30年4月に本校に赴任し、本年度で4年目となります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

この学校だより「3人4脚」は、基本的に毎月第1週の金曜日に発行します。本校の教育活動の様子を保護者そして地域の方々にお知らせできるよう取り組んでまいります。まだまだ不十分な点がありますが、1年間頑張りたいと思っています。

今年度も、学校教育目標を「こころをみがく」にしました。(裏面参照)この目標の実現に向けて、生徒を主役にし、教職員一丸となって、保護者・地域の方々と連携し「3人4脚」で素晴らしい学校を創っていきたいと考えております。教職員・保護者・地域の方々の三者がしっかりと「3人4脚」をとっていききたいという想いから学校だよりの題字を「3人4脚」としました。

また、めざす学校像を「互いに笑顔であいさつを交わす二宮西中学校」としました。生徒にとっては、「明日も行きたい学校」、保護者にとっては、「明日も行かせたい学校」、地域の方々にとっては、「ぜひ行ってみたい学校」、教職員にとっては「ぜひ働きたい学校」を目指したいと思います。

“あいさつ”は「心をつなぐ」と言われています。教師となった私が、まず最初に感じたのはこのあいさつの大切さでした。生徒たちに、「おはよう」のあいさつをしっかりと言うようにと指導をするよりも、教師自らが「おはようございます」と大きな声で元気良くあいさつをすることのほうが、よほど大切であり有効であると実感しました。ご家庭でも心のこもった“あいさつ”を実践していただけたら嬉しいです。

この1年間、毎日の学習や生活の中では、数多くの壁にあたることもあると思います。そんな時でも、大きな声で“あいさつ”ができれば、きっとどんなことでも乗り越え、1年後には大きな成果を達成できると私は確信しています。

昨年度同様、『学・心・命』を確かに実感できる本当の学びを通じて、「こころをみがく」教育活動を実施してまいります。子どもたち一人ひとりの「いのち」が輝くものとなり、生き生きと活動することができるよう取り組みを進めます。具体的には「生徒と教師が共に汗を流す」ことにより「互いの良いところを認め、共に感動を実感」できる場を演出していきたいと思っています。

そして、これらの活動を通し、生徒と教師という「縦糸」と、同じ人間としての関係である「横糸」を紡ぎながら、「温かみのある学校」、「だれも見捨てない学校」づくりをめざします。いたらぬ点多々あると思いますが、何とぞ、保護者・地域の方々の温かいご協力・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

毎日の配信を今年度も頑張ります!「3人4脚」と併せてお読みいただければ幸いです。

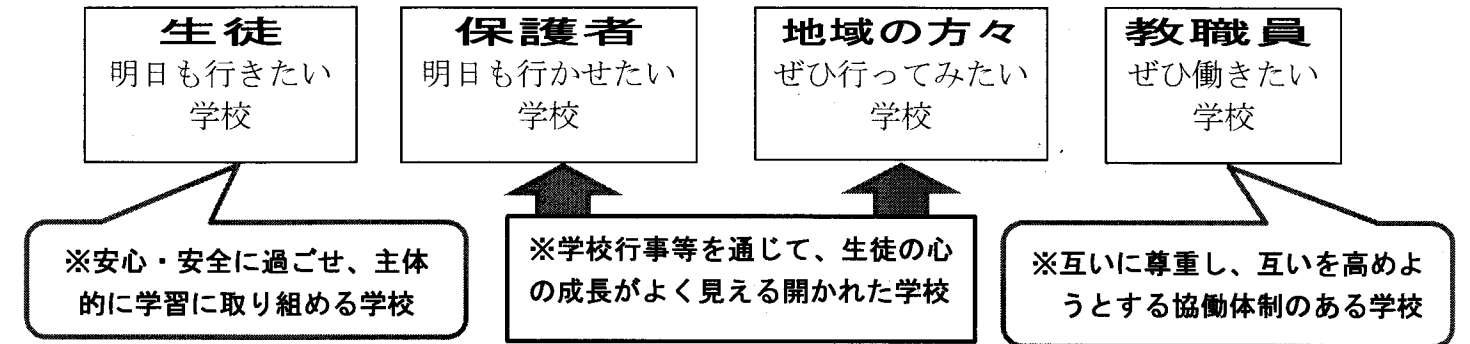
昨年度、本校ホームページの立ちあげを機会に、現在毎日ブログを配信しています。まだまだ未熟なものですが、今年度も毎日配信します。お読みいただければ幸いです。・・・



令和3年度 二宮町立二宮西中学校 学校教育目標

「こころをみがく」

I. めざす学校像:「互いに笑顔であいさつを交わす二宮西中学校」



II. 「チーム学校」から「ホーム学校」への進化

- i) 互いに信頼し、悩みを共有し、互いに助け合う、家族のような温かみのある学校
- ii) すべての生徒の成長を願い、生徒のだれも見捨てない学校

III. めざす学校像実現に向けての具体的な取り組み

- ※学・・・わかる楽しい授業を通して、すべての生徒に学ぶ喜び、達成感を実感させながら、「確かな学力」を育てます。
- ※心・・・道徳の授業を充実させ、これを要としながら、あらゆる教育活動を通じて、「豊かな心」を育てます。
- ※命・・・自らの健康に関心を持ち、自他の命を大切にしようとする学びを通じて、「健やかな体」を育てます。

学・心・命

※「ホーム学校」づくりのためのキーワード
2つの「かんだう」…汗動と感動

互いに汗を流すことにより、
様々な教育活動を通じて、互
いの良いところを認め、共に
感動を味わえるようにする。

IV. 教育目標実現に向けての4本柱と手立て

- i) 道徳教育の充実・・・さらに一層研修を深め道徳授業の実践を重ねる。
※引き続き、「いのち」を柱に、1年間の実践を重ねる。また、生徒の自己肯定感を高められるような具体的な手立てを実践する。
- ii) 学校研究の推進・・・学校研究テーマを設定し、授業力の向上を目指す。
※(令和2年度テーマ)「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善」
～各教科の「見方・考え方」を踏まえた発問に着目して～
- iii) 地域との連携・・・コミュニティ・スクールを活用し、地域の力を学校教育に生かせる取り組みを積極的に推進する。
※地域の人材や環境を活用し、生徒が学習の幅を広げる機会を多く持つことを心掛けます。さらに、地域の行事や防災への取り組みなどを推進します。
- iv) 支援教育の充実・・・インクルーシブ教育の推進による支援教育の充実を推進する。

※手立て

わくわくする
学習課題

主体的・対話
的で深い学び

より良い人生やより良い社会
づくりに活かそうとする実践力

V. 重点課題・・・授業力向上、生徒が自主的に取り組む生徒会活動と清掃活動の支援

※主役は生徒、教職員はサポーター⇒生徒も教職員も「やらされる」から「やる」への意識改革

【2つの指針】

I. 本校生徒会スローガン ～育てよう 私たちの 心の気～

- ① 優気 ② 活気 ③ 本気 ④ 根気 ⑤ 輝気

II. かながわ教育ビジョン ～心ふれあう しなやかな 人づくり～

- ① SDGsの理念の周知と理解 ② あいさつ運動、ファミリー・コミュニケーション運動、3033運動の周知と推進